

6 フクロギツネ <有袋目、クスクス科、フクロギツネ属>

和名：フクロギツネ

英名：Brushtail possum

学名：*Trichosurus vulpecula* (Kerr,1792)



【フクロギツネ】

(財) 東京動物園協会提供

(1) 動物の特徴と同定

分布：オーストラリアとその周辺の島、タスマニア、ニュージーランド（移植個体）

特徴：体色は灰色、褐色、黒、白色又はクリーム色等変化に富む。タスマニア産のものは黒色が普通に見られる。尾は毛が密生して太く、先端の下面は裸出している。胸部に臭腺が見られる。

体長：35～55cm

尾長：25～40cm

体重：（オス）2.5～4.5kg／（メス）1.5～3.5kg

習性等：

- ・3～5亜種が知られている。
- ・夜行性の動物で、昼間は木のうろ等で過ごす。郊外の人家の屋根裏等にも見られる。単独で生活し、木の葉、花、果実、種子、昆虫、時には小鳥を捕らえて食す。
- ・周年繁殖が見られるが、ニューサウスウェールズでは秋に出産が見られることが多い。1産1仔まれに2頭の出産が見られることもある。妊娠期間は17日、育児嚢内には4～5ヶ月留まり、その後6～7ヶ月間親と行動を共にする。
- ・寿命は6～7年とされるが、14年8ヶ月の飼育記録も知られている。

- ・ニュージーランドには1890年代より移入が試みられていたが、1940年頃より樹木に被害が目立つようになっている。
- ・フクロギツネの毛皮は良質で“Adelaide chinchia”の名で取り引きされている。

(2) 保定方法とマイクロチップの埋込み

ア 保定の方法

歯や爪が鋭いため、全て作業にあたり、保定者は革手袋を装着すること。

A 器具を使用しない保定法

左右どちらかの手で素早く首の後から親指と人差し指を回し、首を絞めないように、顎の下で保定し、別の手で両後肢を保持する。

B 器具を使用した保定法

動物を捕獲することが困難である場合、動物を玉網で捕獲し、玉網を絞って動物の動きを制限する。その後、網の上から上記と同様に保定し、その状態を保ちながら玉網から動物を取り出し保持する。犬、猫のように口輪をすることもできる。

C 特に注意すべき事項

マイクロチップの埋込み処置は短時間で終了するため、原則的には麻酔の必要がない。

イ マイクロチップの埋込みの方法

出袋後（生後）6ヶ月から埋込むことができる。

A 埋込みの部位

左右の肩甲骨間皮下に埋込む。

B マイクロチップ埋込みの実際

動物を伏臥状態で処置台に保持し、術部をイソジン綿、アルコール綿で消毒し、埋込み器の針を上記の皮下に穿刺しマイクロチップを挿入する。マイクロチップの脱落を防ぐため、皮膚の穿刺痕に外科用接着剤を塗布し、外用散剤を散布する。

C 特に注意すべき事項

皮膚は猫のように弛みがあるので、マイクロチップの埋込みが容易である。